

秋田県 高校入試情報

令和7年度秋田県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は5問、小問数は昨年より3問減って22問。
- 大問1は計算を含む各領域の小問集合(15問から8問を学校選択)、大問2は作図を含む小問集合、大問3は証明を含む平面図形の総合問題、大問4は確率、箱ひげ図、大問5は関数の数量変化(2問から1問を学校選択)から出題。
- 図形の証明や、関数と図形の融合問題、また、証明以外の記述問題も例年出題される。今年は、整数の性質について文字式で説明する問題、大問5の数量変化の問題は、解く過程も書く必要があった。

★秋田県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p.82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p.96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p.182～183)で、集中強化できます。

■ 関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題や動点と面積の変化の問題がよく出題されている。

新研究で対策！

- 整理編単元15 1次関数② B問題 (p.81)や、「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」(p.180～181)で、入試によく出るパターンに取り組むことができます。

文章の長い問題が多いので、必要な情報を読み取り、意味を理解する練習をしておきましょう。



★秋田県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●	●	●
		方程式		●	●	●
		比例と反比例	●		●	●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●	●	●
		三角形	●	●		
		平行四辺形			●	
		確率	●	●	●	●
データの比較と箱ひげ図		●	●	●		
3年内容	式の計算	●		●	●	
	平方根	●	●	●	●	
	2次方程式	●	●	●	●	
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	
	相似な図形	●	●	●	●	
	円の性質	●	●	●	●	
	三平方の定理	●	●	●	●	
	標本調査	●			●	
出題形式別の傾向	大問数		5	5	5	5
	小問数		24	23	25	32
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	2	1	1
		立式・解法の過程の記述		2	1	2
		作図(図形)	1	1	1	1
作図(グラフ)		1	1			

★新研究で出題した秋田県の入試問題(令和7年度)

p.13大問6,p.27大問1,p.43大問4,p.75大問2(1),p.87大問4(1),p.105大問4,p.119大問3(1),p.151大問2(2),p.155大問3(3)